

第1節

就学前教育・学校教育



市民満足度（令和元年度調査）
3.14

現状と取り組むべき課題

- 関係機関との連携による教職員の資質向上や、教育の質の向上・充実を図ることが必要です。
- 小学校から中学校へ分かれて進学していることが小中連携を進めるうえで支障となっていることが課題です。
- 「学校施設長寿命化計画」に基づき、コストの縮減・平準化を図るとともに、子どもたちが安全で快適に学ぶことができる教育環境の整備が必要です。
- 「京都府学力診断テスト」などで京都府平均を超えていない教科があるなど、学力の底上げが必要です。
- 経済的理由により就学が困難とみられる児童生徒の就学を確保するために経済的援助を行っていますが、更に保護者の経済的負担軽減を図る必要があります。
- 児童生徒の抱える悩みが多様化するなど教育相談のニーズも高まっている中、適応指導教室における支援などが必要です。
- 新型コロナウイルス等感染症の予防を図るため、施設の衛生設備の充実が必要です。

施策の方向性

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、生きる力の基礎を育む幼児教育・保育を推進します。また、子どもたちが未来を切り拓いていくため、学力の向上を図るとともに、たくましく健やかな体づくり、豊かな人間性を育む「志・心の教育」の充実、すべての子どもの就学保障を図ります。さらに、安全で安心な子どもたちの学びの環境を充実させるとともに、就学前から義務教育終了までを見通した切れ目のない支援ができるよう組織体制の充実を図ります。

- 1 就学前教育の充実
- 2 教育環境の充実
- 3 教育内容の充実
- 4 児童生徒の安全確保
- 5 就学援助・相談体制の充実

具体的施策

1 就学前教育の充実

保育所等教職員の資質の向上 …………… 取組主体 **行政**

京都府幼児教育センターや実践的な研究会などと連携し、認定こども園、保育所（園）・幼稚園の教職員の資質向上を推進するとともに、教育、保育内容を充実させます。

幼児教育総合センター機能の強化 …………… 取組主体 **行政**

亀岡市立幼稚園の幼児教育の充実を図るとともに、幼児教育総合センターの機能強化を推進します。

保育所等と小学校との連携強化 …………… 取組主体 **行政**

認定こども園、保育所（園）、幼稚園、学校、家庭との連携を強化し、円滑に小学校へ接続できるよう、子どもたち一人ひとりの特性に応じた就学前教育を推進します。

2 教育環境の充実

学校規模適正化の推進 …………… 取組主体 **協働**

児童生徒にとって望ましい学習環境・集団活動を形成できるよう、保護者や自治会の理解を得ながら学校区の見直しなど、規模の適正化を推進します。

老朽化した学校校舎の長寿命化・トイレの洋式化 …………… 取組主体 **行政**

子どもたちが気持ちよく、安全・安心な環境で学ぶことができるように、校舎の長寿命化や大規模改修及びトイレの洋式化を推進します。

遠隔・ICT学習環境や教材備品の整備 …………… 取組主体 **行政**

国の補助などを利用し、限られた財源の中で優先順位をつけながら遠隔・ICT学習環境など教育の情報化を進めるとともに効果的な備品の整備を推進します。

学校図書館の充実への支援 …………… 取組主体 **行政**

子どもたちの自発的、主体的な学習を支え、読書活動を促せる環境を整備するため、学校と連携して蔵書整備や司書の派遣などにより、学校図書館の充実を図ります。

安全・安心で美味しい小学校給食の提供 …………… 取組主体 **行政**

安全・安心な食材の調達及び地元で生産された亀岡産京野菜などの地場産物の活用のほか、新たなメニュー開発などにより「美味しい給食」の安定提供を推進するとともに、「給食だより」などにより地場特産物を学ぶ機会を確保します。

安心して食せる中学校昼食の充実 …………… 取組主体 **行政**

生徒や保護者、学校などの意見を踏まえ、地元産食材の利用によるメニューの改善や食物アレルギーに関する情報の収集及び研究に努め、選択制デリバリー弁当の充実に取り組みます。中学校給食の実施についても、調査・研究します。

赤枠囲み

… **令和4年度 行政評価対象事業**
(今回、進行管理部会ヒアリングを実施する事業)

3 教育内容の充実

学力の充実・向上 取組主体 **行政**

読書活動などの推進とともに、全国学力・学習状況調査や「京都府学力診断テスト」などから成果や課題を明確にし、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った指導方法の改善などを推進します。

小中一貫教育・小中連携教育の推進 取組主体 **行政**

9年間の義務教育を見通した系統的・継続的な教育により、教科指導などの充実による学力向上や小学校から中学校への円滑な接続などを推進します。

体験活動（ふるさと体験学習）などの充実 取組主体 **行政**

仕事体験学習などを通して、望ましい職業観・勤労観、志を育むとともに、ふるさと亀岡の歴史・文化・芸術・自然や環境学習などを通して、ふるさと愛や誇りを持ち、このまちに住み続けたいと思えるよう、かめおかの良さを学べる取組を推進します。

国際理解教育、並びに外国人児童生徒への学習支援の推進 取組主体 **行政**

外国語指導助手の派遣など、様々な言語・歴史・文化にふれる機会を通じて、国際理解を深めたグローバルな人材育成を推進するとともに、外国人児童生徒教育支援員を配置するなど、支援体制を整備します。また、諸外国・地域の文化や伝統の理解・尊重や、平和を尊ぶ学習を行うなど、国際理解教育を推進します。

生徒指導・教育相談活動の充実 取組主体 **行政**

規範意識の高揚や自他の生命の尊重、自尊感情の育成、他者への思いやりなど、豊かな人間性を育む心の教育の推進や社会性の育成を指導するとともに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置や関係機関との連携により、児童生徒や保護者からの相談への対応の充実を図ります。

人権教育の推進 取組主体 **行政**

人間の尊厳と基本的人権の尊重を基盤に据え、児童生徒の発達段階に応じた、人権感覚及び実践・行動力、人権尊重意識の育成を図るなど、人権教育を推進します。

特別支援教育の充実 取組主体 **行政**

通級指導教室の整備や特別支援教育支援員の配置など、特別な支援を要する児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制の充実を図ります。また、就学前からの教育相談により、早期対応、早期支援を推進します。

健やかな体づくりと食育の推進 取組主体 **行政**

規則正しく健康な生活を送り、体力を向上できるよう、基本的な体づくりをはじめ、体を動かすことを促進するとともに、正しい食事の習得により、たくましく健やかな体づくりを推進します。また、地場農産物を活かした食文化を楽しむなど、家庭と連携した食育の取組を推進します。

サイエンスボランティアの育成 取組主体 **協働**

学校や関係機関、地元企業、サイエンスボランティアなどとの連携と広報の充実など、サイエンスフェスタ及びサイエンスフレンズ学習クラブの協力の輪を広げる活動を推進します。

教職員の資質の向上 取組主体 **協働**

京都府総合教育センターや実践的な研究会などと連携し、ICT教育など時代の要請に対応した教育が行えるよう研究機能を充実させるとともに、就学前から義務教育終了までを見通した切れ目のない支援ができるよう組織体制の充実を図り、教職員の資質向上を推進します。

新しい教育への対応 取組主体 **協働**

外国語教育やプログラミング教育など新しい教育に取り組みます。また、遠隔・ICT学習環境の整備に対応した教育内容の充実に取り組みます。

4 児童生徒の安全確保

安全・安心な通学路の確保 取組主体 **行政**

「亀岡市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関の連携による安全対策を推進します。

遠距離通学する児童生徒の安全確保 取組主体 **行政**

山間部・周辺部で遠距離通学する児童生徒に対し、必要な場合はスクールバスを運行するとともに、公共交通機関に要する費用や自転車通学用ヘルメットの費用補助など、保護者の負担軽減を図ります。

学校内における児童生徒の安全確保 取組主体 **行政**

教職員の危機管理意識を高め、児童生徒の身を守るための学校体制づくりを推進するとともに、学校安全対策委員会の活動を支援し、安全・安心の確保を推進します。

安全教育の推進 取組主体 **行政**

防災訓練、交通安全教室などを実施し、児童生徒が身の回りの危険を察知し、自らを守る行動がとれるよう、安全教育を推進します。

児童生徒の安全確保のための情報発信 取組主体 **行政**

児童生徒が不審者などの被害にあわないよう、関係機関との連携を図り、保護者などへ情報を発信します。

感染症予防設備の充実 取組主体 **行政**

新型コロナウイルス等感染症を未然に防ぐため、手洗い設備などの充実に努めます。

5 就学援助・相談体制の充実

就学援助の推進 取組主体 **行政**

就学援助制度により、経済的な理由で就学が困難な児童生徒の学びの機会均等に努めます。

教育相談事業の充実 取組主体 **行政**

幼児・児童生徒の教育上の諸課題について、教育相談員及び臨床心理士などが専門的な立場から助言及び援助を行い、心身ともに健全な幼児・児童生徒の育成を推進します。

適応指導教室の充実 取組主体 **行政**

不登校で悩んでいる小中学生を対象に開設する適応指導教室において、在籍校及び関係機関と連携しつつ、集団生活への適応と学校復帰や自立に向けた支援を推進します。

第2節

公共交通



市民満足度（令和元年度調査）

2.89

現状と取り組むべき課題

- JR山陰本線（嵯峨野線）の複線化が完成し鉄道の高速化が進みましたが、さらなる駅利用者の利便性の向上と「府立京都スタジアム」運営に伴う交流人口増加への対応が必要です。また、亀岡駅南の交通広場は、バス・自家用車などが混雑する状況がみられ改善が求められています。
- 計画に基づいて、ふるさとバス・コミュニティバス・路線バスの利便性向上や、まちづくりなどの地域戦略と一体となった持続可能な地域公共交通ネットワーク・サービスの形成に努めており、今後も継続的に取り組む必要があります。
- 少子高齢化社会に対応した公共交通網の形成・公共交通空白地域の解消や観光客を公共交通利用に取り込み、地域のにぎわい創出・活性化につなげることが必要です。
- 市民の自家用車の利用率が高いことで交通渋滞が発生し、バスの定時性が崩れることが利用者減少の要因のひとつとなっているため、公共交通の利用を促進することが必要です。

施策の方向性

市民の通勤・通学をはじめ移動を支えるJR山陰本線（嵯峨野線）の利便性向上や、「府立京都スタジアム」による交流人口増加への対応、鉄道と駅利用者の利便性向上を図ります。また、まちづくりと整合のとれた公共交通網を構築するとともに、「亀岡市地域公共交通網形成計画」に基づき、市民のニーズや社会環境の変化への対応を推進します。

1 鉄道と駅利用者の利便性向上

2 地域に根ざした持続可能な公共交通の実現



ふるさとバス

具体的施策

1 鉄道と駅利用者の利便性向上

鉄道利便性の向上 …… 取組主体 **協働**

JR馬堀駅への快速の停車や輸送本数の増加、「府立京都スタジアム」でのスポーツイベント開催時における臨時便の増発など、鉄道サービスの向上と京阪神方面への鉄道の充実に向け、関係自治体と連携し取り組みます。

駅舎機能の維持・向上 …… 取組主体 **行政**

本市への来訪者を迎える玄関口でもある亀岡駅自由通路について、デジタルサイネージによる情報発信や多言語表示によるサイン類への更新など機能の充実と適正な維持管理に努めるとともに、JR千代川駅における東西自由通路の整備による利便性の向上とバリアフリー化を進めます。

駅前広場の交通結節点機能の維持 …… 取組主体 **行政**

駅前広場の良好な環境を維持するため、放置自転車の撤去保管や放置者への指導などによる対策を行うとともに、送迎用スペースにおける違反車両などへの指導啓発活動を進めます。また、亀岡駅前広場では、駅北地区の新たなまちづくりによる交通体系の見直しや駅南地区におけるロータリーの改善など利便性の向上に取り組みます。

2 地域に根ざした持続可能な公共交通の実現

まちづくりと一体となった総合的な公共交通ネットワークの形成 …… 取組主体 **協働**

コンパクトなまちづくりを目指し、都市機能を誘導する都市核と地域コミュニティ核を結び、地域活性化への貢献や観光振興による交流人口の拡大を促進できる総合的な公共交通ネットワークの形成を推進します。

地域の協働と連携で支え合う公共交通体系の構築 …… 取組主体 **協働**

人口減少や高齢化が進む中、公共交通空白地域を解消し、地域公共交通を確保・維持していくため、「地域の交通は地域で支える」という機運を醸成し、地域主体型交通の導入を促進するなど、地域住民、交通事業者、行政が協働し、需要と運行のバランスのとれた持続可能で交通弱者に配慮した公共交通体系の構築に努めます。

モーダルシフト推進による公共交通の利用促進 …… 取組主体 **協働**

環境負荷の軽減や健康、経済的側面からもモーダルシフト（環境負荷の低い輸送・移動手段への切り替え）を推進し、各地で実証実験も行われているMaaS（Mobility as a Service）や自動運転などの新技術も検討する中で公共交通の利用促進に努めます。

赤枠囲み

… **令和4年度 行政評価対象事業**
（今回、進行管理部会ヒアリングを実施する事業）

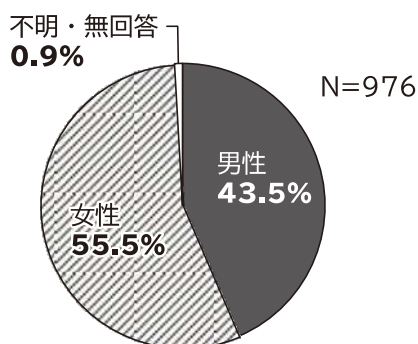
2-3 亀岡市まちづくりアンケート結果概要

調査対象	18歳以上の市内居住者のうち住民基本台帳より3,000件を無作為抽出
調査期間・方法	令和元年7月11日(木)～7月31日(水) 郵送による配布・回収
回収結果	有効回収数976件(有効回収率 32.5%)

1 回答者について

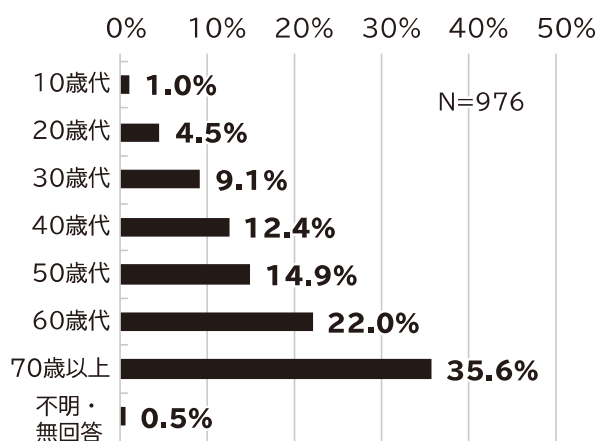
● 性別〈単数回答〉

◎ 「男性」が43.5%、「女性」が55.5%



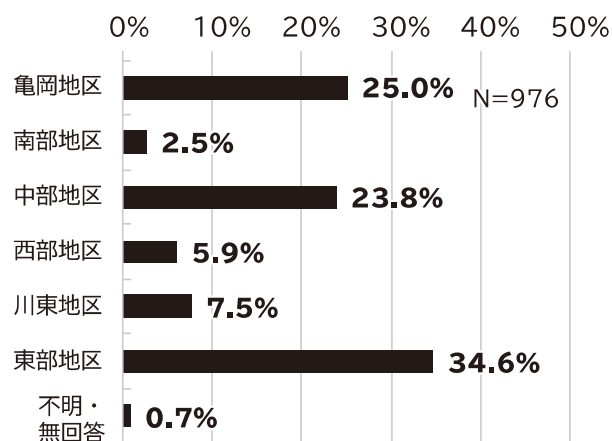
● 年代〈単数回答〉

◎ 「70歳以上」が35.6%、「60歳代」が22.0%で合計が6割近くを占める



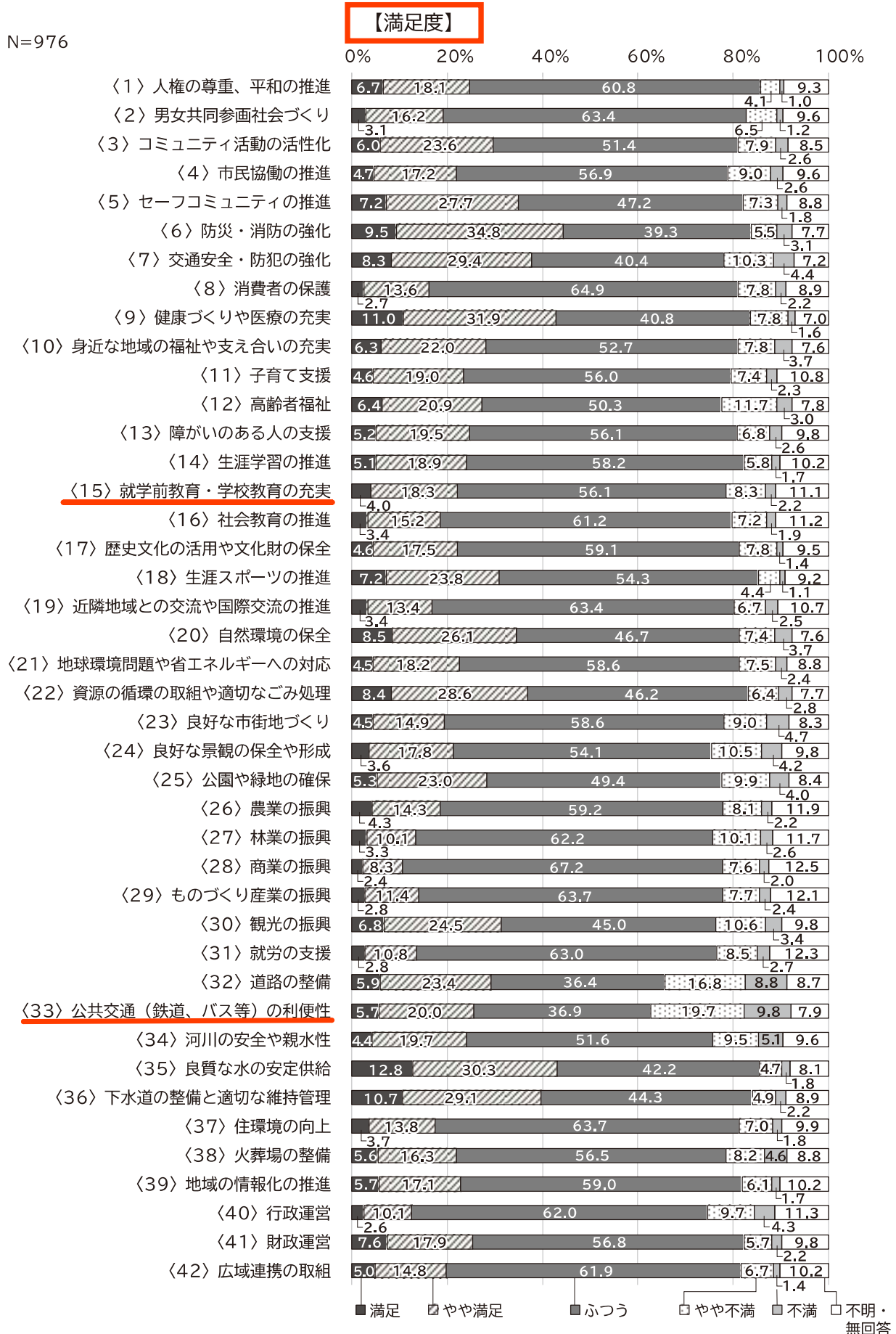
● 居住地域〈単数回答〉

◎ 「東部地区」が34.6%、次いで「亀岡地区」25.0%、「中部地区」23.8%



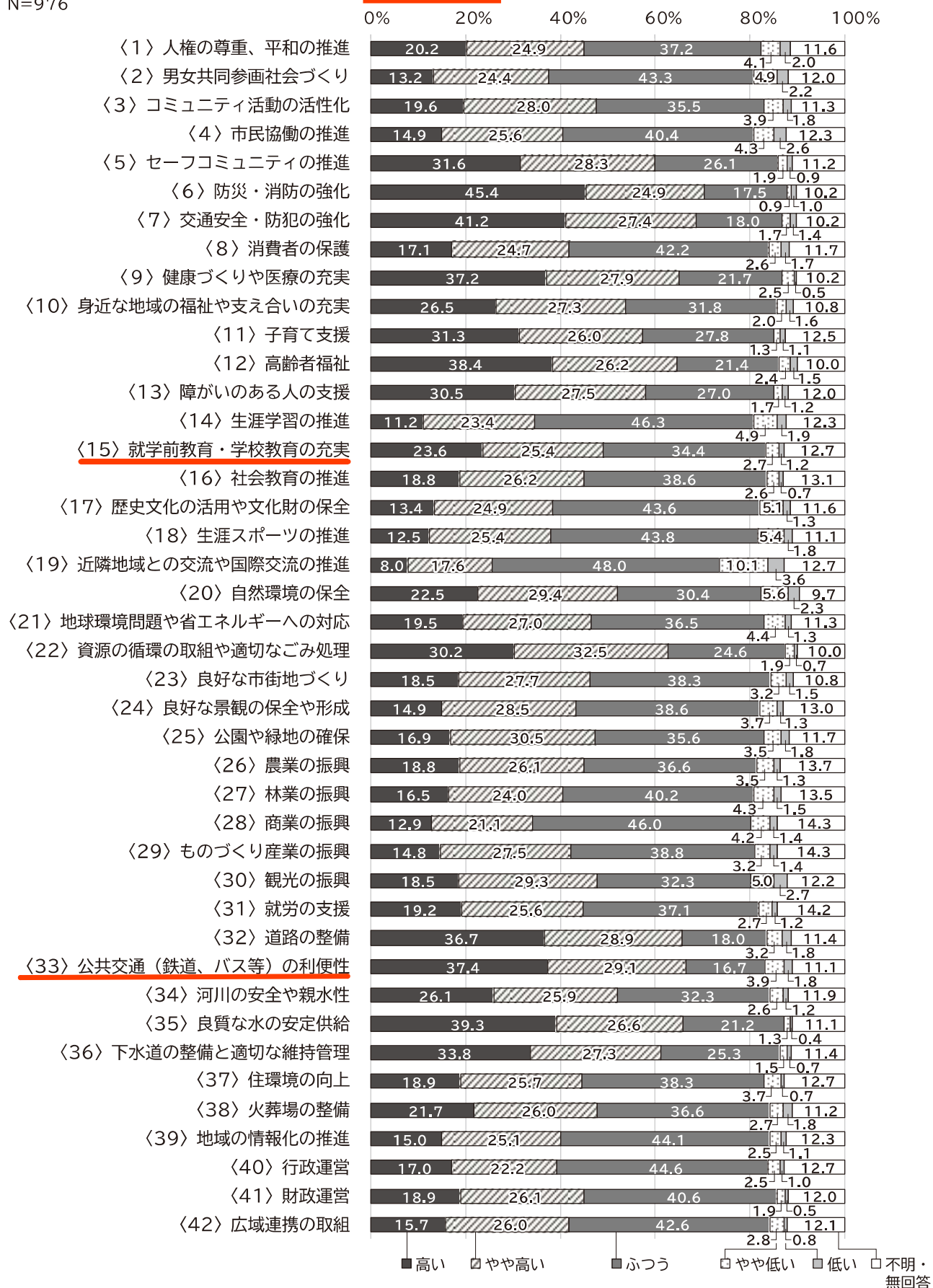
2 市民意見

N=976



N=976

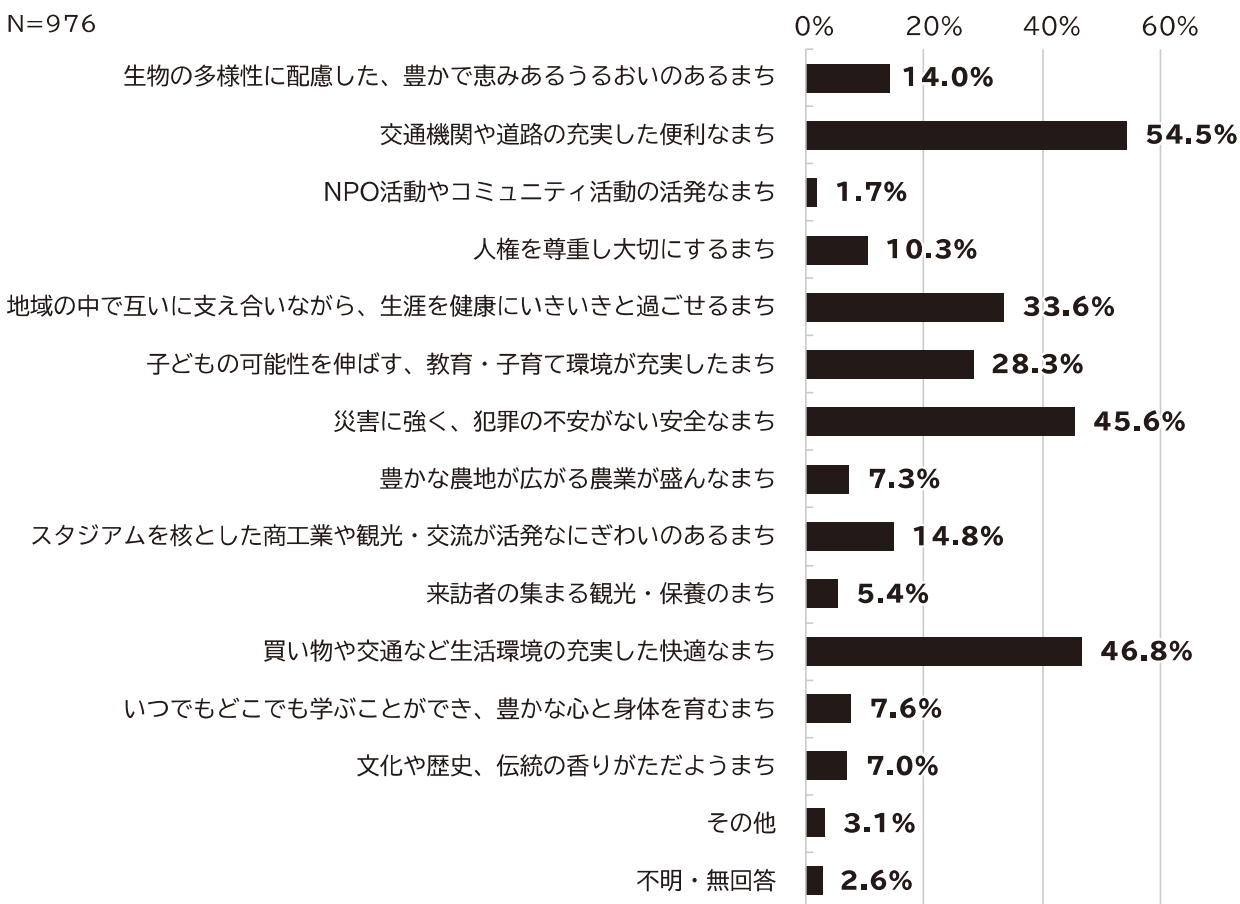
【重要度】



13 まちの将来について

● 2030年の亀岡市は、どのようなまちであってほしいとお考えですか〈複数回答〉

- ◎ 「交通機関や道路の充実した便利なまち」54.5%、次いで「買い物や交通など生活環境の充実した快適なまち」46.8%、「災害に強く、犯罪の不安がない安全なまち」45.6%
- ◎ 年代別にみると、【30歳未満】では「買い物や交通など生活環境の充実した快適なまち」が最も高く、【30歳以上50歳未満】では「子どもの可能性を伸ばす、教育・子育て環境が充実したまち」が他の年代より20ポイント以上高い



◎ 各年代の上位3位までの都市像

	第1位	第2位	第3位
30歳未満	買い物や交通	交通機関や道路	災害に強く
30歳以上50歳未満	交通機関や道路	買い物や交通	子ども／災害に強く
50歳以上60歳未満	交通機関や道路	買い物や交通	災害に強く
60歳以上	交通機関や道路	災害に強く	買い物や交通

2-5 亀岡市まちづくり高校生アンケート結果概要

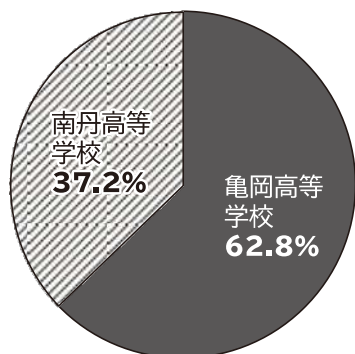
調査対象	亀岡高等学校及び南丹高等学校に通学している3年生の生徒
調査期間・方法	令和元年7月5日(金)～7月19日(金)各校で直接配布・回収
回収結果	有効回収数436件(有効回収率95.2%)

1 回答者について

● 通っている学校〈単数回答〉

◎「亀岡高等学校」62.8%、
「南丹高等学校」37.2%

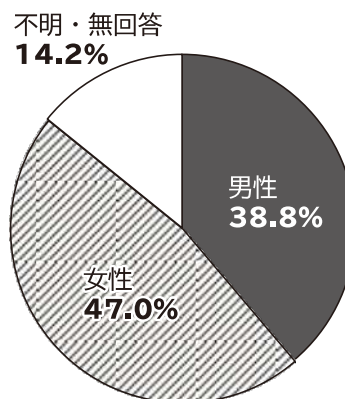
N=436



● 性別〈自由記述〉

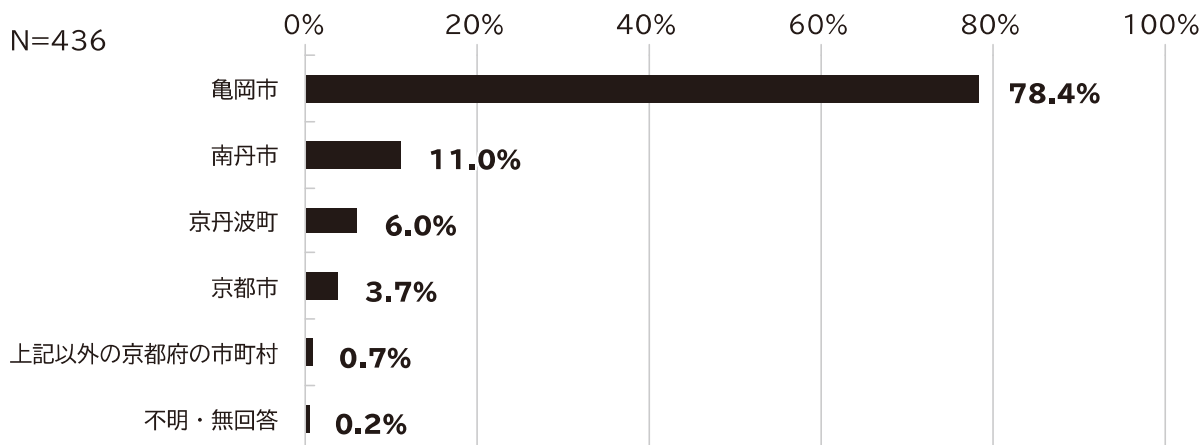
◎「男性」38.8%、「女性」47.0%、
「不明・無回答」14.2%

N=436



● お住まいの地域〈単数回答〉

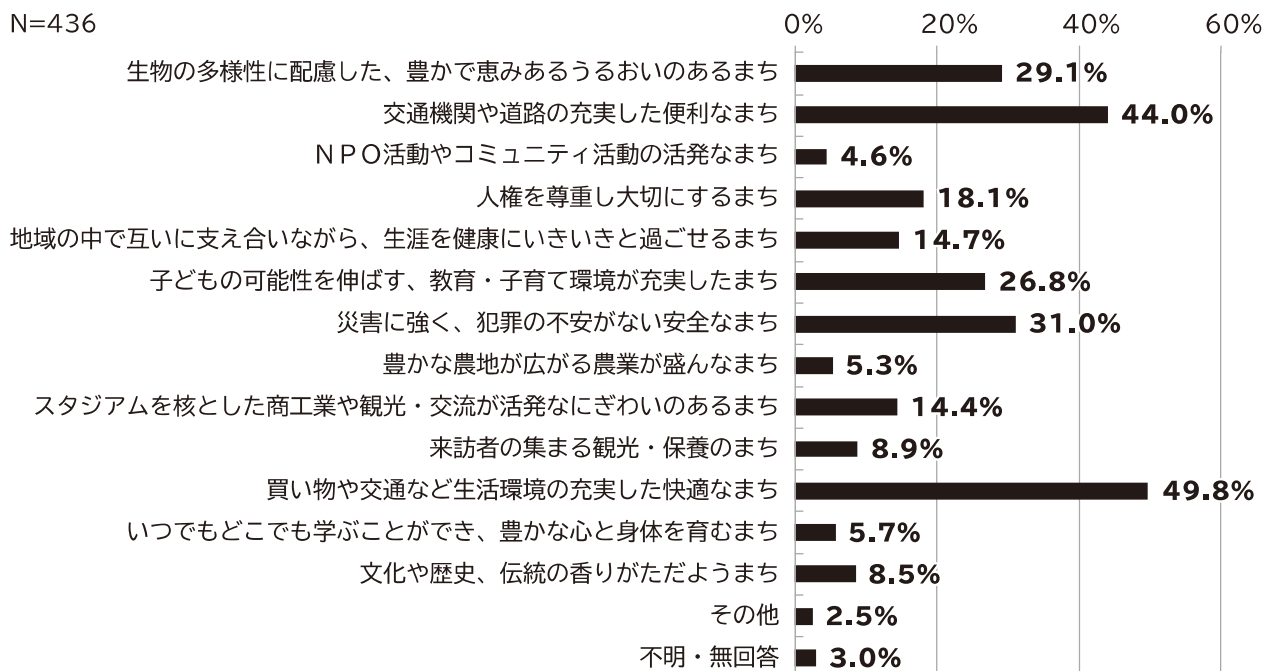
◎「亀岡市」78.4%、次いで「南丹市」11.0%



4 まちの将来について

● 2030年の亀岡市は、どのようなまちであってほしいか〈複数回答〉

◎ 「買い物や交通など生活環境の充実した快適なまち」49.8%、次いで「交通機関や道路の充実した便利なまち」44.0%、「災害に強く、犯罪の不安がない安全なまち」31.0%



● 亀岡市の今後のまちづくりについて〈自由記述〉

◎ 回答を得た106件のうち、「学生・若者が集まれる場所、商業施設等の充実について」27件（25.5%）、次いで「電車、バスなどの交通機関、歩道などの充実について」25件（23.6%）、「スポーツやスタジアムのことについて」20件（18.9%）についての記載

亀岡市の今後のまちづくりについて	件数	%
学生・若者が集まれる場所、商業施設等の充実について	27	25.5
電車、バスなどの交通機関、歩道などの充実について	25	23.6
スポーツやスタジアムのことについて	20	18.9
環境保全に関する取組の実施、充実について	14	13.2
学習環境の充実について	11	10.4
子育て環境の充実について	1	0.9
高齢者の暮らしやすいまちづくりについて	1	0.9
情報発信の充実について	1	0.9
その他（感想など）	6	5.7
計	106	100.0